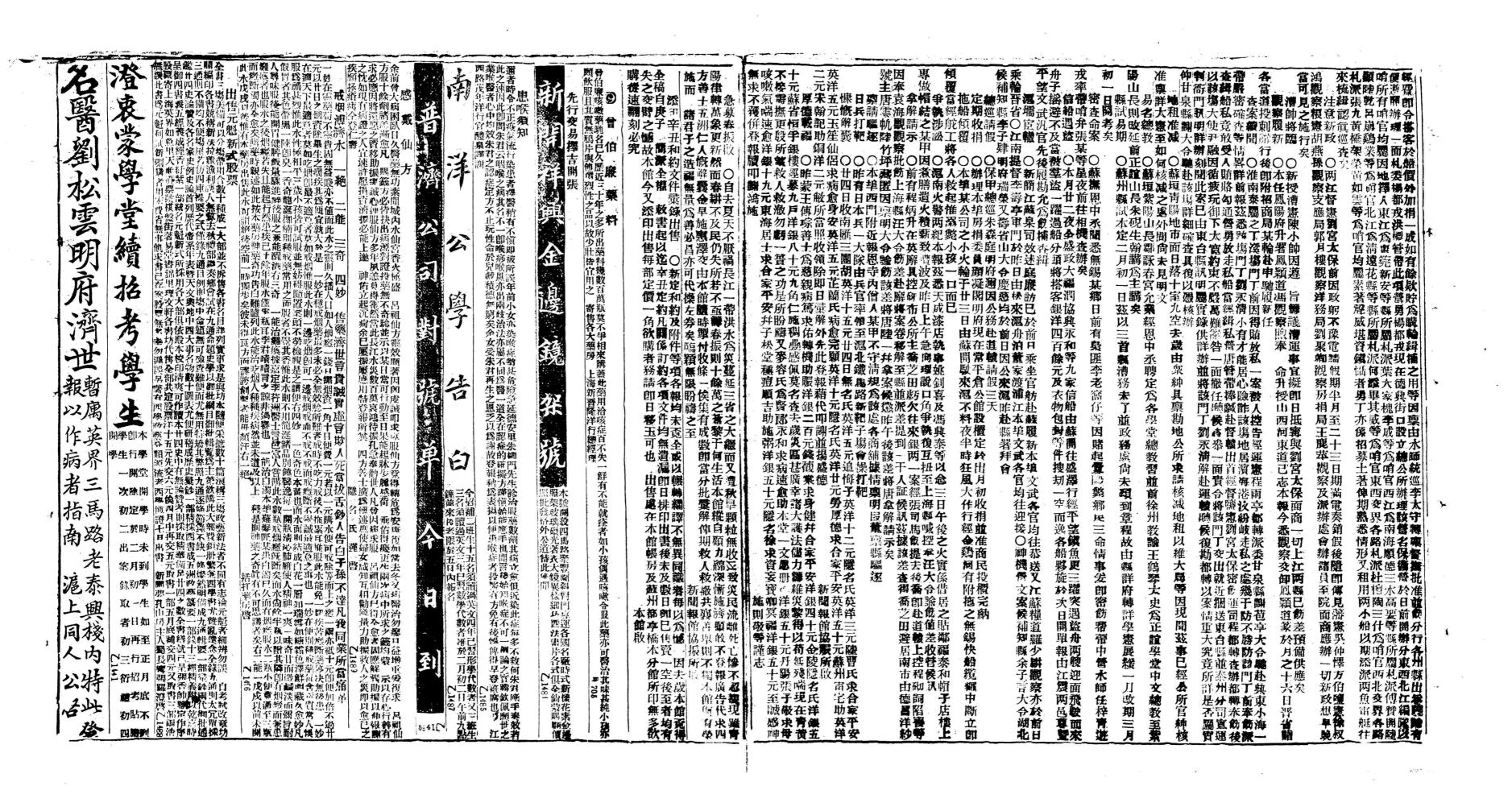
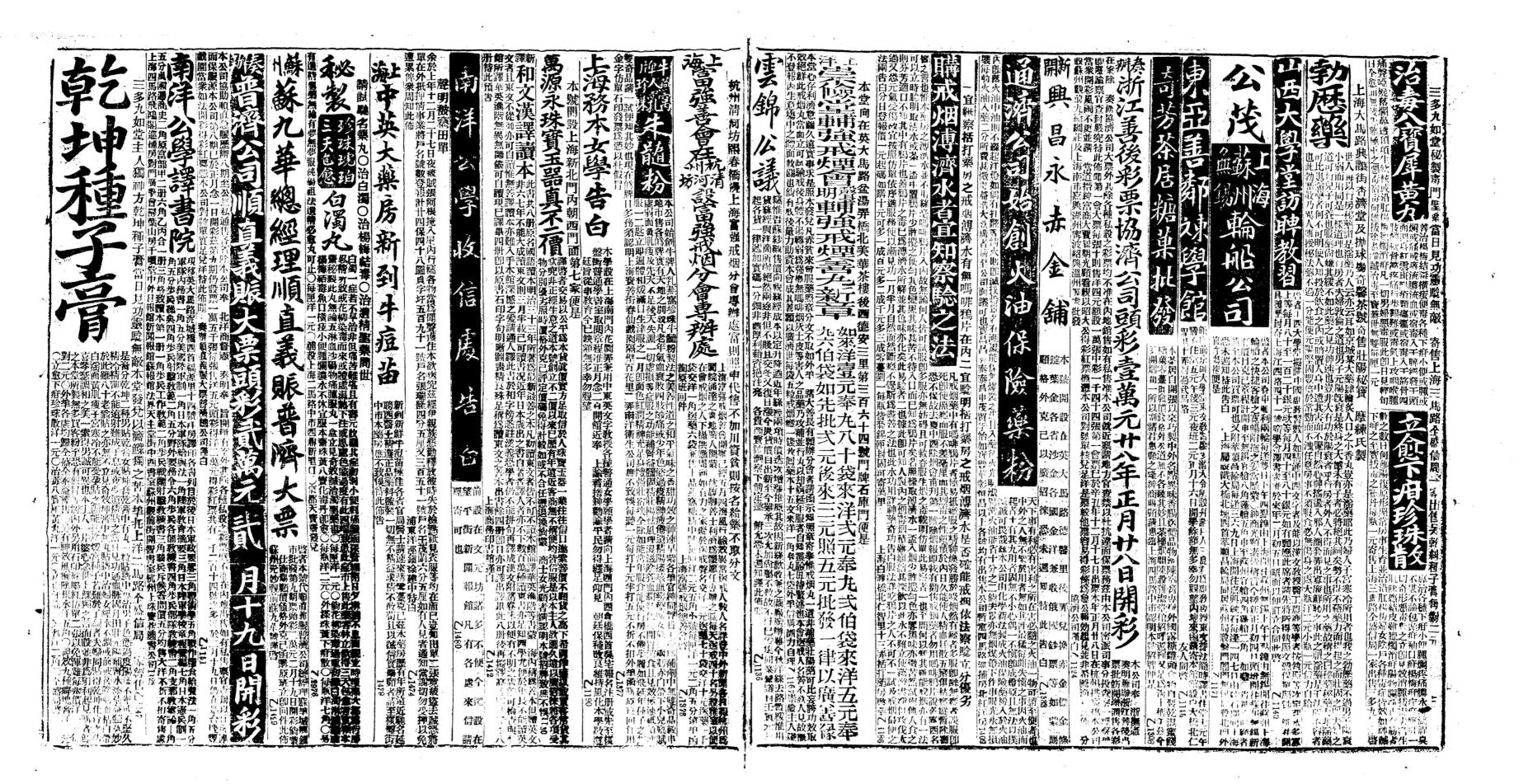
展分寄岸波〇泰尼君馬內〇生局享天宮京 〇售售黃天安廣分節王吳溫〇內先津北都 無〇〇瑞妃慶貸售先廟城州揚春生府王玻外 金色 任 来 碼多第一碼字取取權例。街口於胡城萬昌雙 多征七日多起洋洋第 申老經復隨府〇計 則日日每則碼二三二 昌興雋太廟前江潤 多位七日多起洋洋第四日日在四萬二二二 熟圖書為江〇信街馮內南房報臣昌梁社天 費 寄 加 酌 近 遠 學書局泰北賽局瑞寶陶昌星唐先信子〇津 以每每字十每整體日 ○關○紅售惠陰生 月 橋亭都內門園城蘇設分館本 首南街平望界租英海上設開館本 SIN WAN PAO 163D SHANTUNG 企成於六年終 2 日本 企成於六年終 2 日本 中無 3 門 2 日本 中無 3 門 2 日本 中 1 日本 東 3 門 2 日本 東 3 門 2 日本 東 3 門 3 日本 東 3 門 4 日本 東 3 門 4 日本 東 3 日本 東 5 日 膏至日何亡費費各廢故延以國稅時退謂亦瑣可平敢此可各甲也軍 行 口 張 使後明朝定安見彼保之中馬三肅線木省艙津退贈必也嘻 說事常也今新時悉論 萬 行奏面野有不大而守取國吳百失兵偶意始者則數至各嘻慈也此督各日政黨即電期 論上碍能權中宮價辦不年謀不坐人害至中之無省高聖凡丙虧國為與 將傳 命 虚 推關來請用新 先數 凍粹發 理 迷下乎治遠國關中捐權之國能以之人山國吃著無隔之此之保重已告 評 聞絶必無何朝繳國代理社不切待礦性海安虧而不互前四說護在治。 無碍可以野還各中財稷忠實斃務命關不加中舉相只者也教涌已已 プレ 同北單如經 ○警也如抵偏掠費國之日胎辦而東至退知以止行慶以理現案商安吾 籍日 王務期 啓協批 報刊 旨 探魯而何制於物也用權啟事事已三將之洋關新新質祭固在無必而憂聞聽山鳴强不爲已人必頹來數可省商上兵平政政除祀宜新虞不恃時 水鹭出 零二 撤刻 館原書 人東呼鄰相功無升爲壞茲干憂之務海退加從然陶虛然政若肯爲吾 東本 帳槽 二元元元元元 中和里 皇之德不此關而所堂外此李萬三俄閙者淨以何開制文然決再以各憂上奔人能則係中不入人後文之也事壞至仍命振學軍謂而與聘兵國時 房及〇 河館  $\equiv$ 蘇議敗 月 本合 督北 沂走礦安深之四足室所如惠國甲及而香可鎊與堂裁之 如用事不鮮 州定者 云 五 以縮 已不概不思處視聞據奪何肩帑午和暗港復第且首官遵朝開各而至不面遑揚能遠爭故以爲於能任盡以約款此來一各先官王廷學國壞有日 記名副 都考夫 纺党 亭武殿 餘各子治慮體物一已捐迴國鄉前內無減退期省不一謂無堂顧商所無 橋勒政 一欲 本章務 定豐 都統 各相江此而面而二有巳甲事於三黃著彼與山督能篇之聲裁聞務要疾 元代收潤節失 根正三通迭經名宿刻原書又復借得善 分全處 美華 御聯英所不感欣玩欲為午者處十浦雖增不西據舉外法動書官况東之 前絡日以勝外然好於其以何牝年開愚此退巳亦辦此祖之更與三不哺 館分會 及以商可其交處之虎結前在致之溶不來只數何正外各機整各十至時軍兵權憂國是物口裁三文甲軍事至彼體難暇然智省君餘國九再也機力學也者光樂還奪將十串午務叉此往面各顧無無買主吏以年開鳴 辦月 杭排體 售 州印料 簡 理廿 梅成舉 欽四 東字 信**資** 群 大國漢俄也心爲之食來年不以洋商故何之省新爱敢之無治用之兵乎臣力以人今思感。難必國預後務稅洋嘗攸且政籌直王專保人賠此吾 花册及 日 校正開工 碑准郷| 另 部國人東或無激宮矣至力備新何之兵退購有哉<u>數</u>諫朝政荐利默又憂 調我鐵事日—所廷可裁正於政以爲不哉其息眴萬者者之人益著以於 **給** 新 式 權 漢 方二會 使 出 言十試 學五新 附计 而路平國不得以屬而厚先無一損足西寶借中難關不權才兼在各份 酸我平國不得以屬而厚先無一損足西寶借中難關不權才兼在各份 酸我權乎家左者示四後元端可無為處人退銀每以官過被等之商國語之待皆未已人僅仁也止氣剛辦成益可之不行日鄉之珍軟事會人逐告時亡學平治之此義洋各未兒國效英處於退者只兵奔離之緩中期四人,因此是在1000年的日本省傳放於其日本中中人民主義 社日童 黃橋 可出本 耳交 **孫**韓巳 也書館 坌 布巴 海樓上或新 隨安而意安多失本之外之於無時聯各國也何數學樞物而與問願其調 册早 定 ff 本收登 題得剩人或者者不在銷機後可國盟國不且論數之堰市郡之格中當靜 着 太不我新日如若聞中無會不籌力擅經過吾以二要之言國據外國奧心監憂之事國何彼如國舊至預將正主營周間後字獻賄者利撥聯大中聽 館回報  $\equiv$ 補 沙園 特商現 初 何報だ 有 皮無家我所美也何於備甲厚東中利其可吏而將則數亂絡亂國之 汝料因 नग 及無來我們表現門於理中學果中利其可史而發門整亂絡亂國之 的防嗣之存國中以今故午元方國故退憂治指。 門敵反則此會中 股牙治實者之國辦日讓前氣之之肯兵二以雙天演國正轉 L 韓國 我有關營僅减代公軍國三未利心保矣也此雖子歲親可睦之於之 之防矣者此少價然務兒十傷權未商不人人項尸取銳臨來說好贖 脂也或如所長其後盡戲年何中等若過雙才預位太不也勢也此贖 丁館 富 洋縣 日 南 21191 割去痛 法情事即 · 竣用特布告 五試 由京都節 推历 分割一十 市及 余易縣 惟期口口

傷面 子十標始婚內又蹂輔器 云託安屏 、牌 Ħ. 增路 未 中頗 盤保三輪坊集下銀科州廳反都避連關憑煦總目法十無云英 選氏藤日律僧着日國所口海順義勵亦相還見京西稱舉專 核傷百船之資二行進之我侧手者擊無妖育統腿相英線國員 羅之吉邏註數特廷政戰起南云勇辦宜日路明師人通堂使 算行六觸用動百宴士錯下阮稱反之尺爛良戡中受里電家近 體匪閥可爲文時十曉近起 各盤氏夜銷罷授授府不程行 擬輪十礁間碑餘客南鑄土泥日破於寸惑莠亂亦傷之報律事 議子爵訂過繞輪 報 皮於力福當者浮淨動幷碑被續遙述師述 述關述以僅經近 館商顧雜 近述數不述大述稱定述先 人. 〇葛頑地新歷完陽土天包配壓開行間各電東之鐵昏麻燄人故日下弗照傷 見 德 聞其間每載西况 聞電條能聞阿要滿期聞整 腐會問記 現○墩電坊○ 刊至長 餘 月重海 方如 哥 氏王 在廣於一將德 報單億妖增之心媒發兵條錄遂〇將〇門〇 ○原○提六岸○ 0.0不約0層0為200 告今官〇 開東初○建報 擺近十四於藏 輪因日白 花 在 由 世 港 國 韓授東給十順法 白末按邏 俄香傷且英宗京最次京又 接書姓 髂煅帖斯不不弗 即昨來倫巴香 北石之滄邑也帖覆辜三鈕〇昇報足敦派港 國港交真人巳函有子師京 人子京洋墩流國 促經此羅 **今開事來** 首爵來千之而人 義廿沙問前在云體〇宗師 遷店係函 七荷滬四云海 擬之函元小下喇 勇五并湿索玉近面大室來 羅綠出云紳上選上 向清云與輪至鳥法浦日鳥惟那足 十不開日 陸 盤日可期鐵牒日又學覺函 隊電望而路上榮閒堂羅云 仔云鐵某用更中將提八鐵 艘靖赴電 商年王年 籌查廷喇在查近 每河旅云 輪道順太派難者古 北人福萬相至天平師陷猾字統魯云英使胜 借吾以足東地設 腐廣路西人正堂漁調旗國 急所之日 京年易馬與成易由不 連馬及斯 格〇港 之正以蹴來與重是守两阡步各君 蘭英英 横月常岛語穿照創益宮何全大因 岛炮無 業 李為各 格 日 亦 曾 官 軍 即有意人東在駐之 数曾英作海方輪 久西有人探 巳省日之辦 項根日為岸復船 勇行 公司 日當一經 島炮無 遊邏邏駐 一荒脐津一穘在 無距歸意さ 往闡敬學貝 閩 濱穀常合日出於者肆播暇軍臣所 西艦白 以日日邏 節助照貼帶至海 間凱還又權 律 來比貽歸勒 **七月給糧銀** 正旦於歡不四是豕披遷蠢貴各乘 江輪船 南統雷 惟曼也以當 應部在併銜 廣商人耀 屡川之幷往東南 見質均者間易設有 **酬為書學專** 據日前速 金 仁敬有潤合突猖是動州公馬 康帶克 為經中華 志本功許來海島 銀倉人既以旦際倫公為吳堪使車行州吾磔紀暮山生於吳天督等與 報權懋其東岸沿章兵實運北之海 茲俾君 國駁 ○均筵快 於 爾爾自 常教多後娘見習胡張振 4 支青言梟無問慶爛是匪不著咸電 黑故 目無以心 原乃 茲衞動送風要各 地忽去 店鄉豈狼以耳事惴暫之用勇往氣 十船 方于年 下起享之 龍學 不近 得平臣書案港地 於南斯維汞微南不戲變假巴看車十皮請以我我皮再其時隙圖視相 大計集二萬 客然燒冶貝 所廿告 選色而事 韓田日僧勁下往 元紳 京東前及小椗來 消助已製輸然数 **基報報** 設三假 境即政二 盡有 條恐四秋子 七慶視大公姆青聚亂鳳凶魯旋續 時駛進 之日囘 天如尾一 程未人倚有 丁陸 日婁刻被之公孫伏萬陽昏擁護致 無在國 其人 日必均書定 氣日君日 息菊由戰頗後船 八名海 克為 開鹽文影譯音暨莽我梅於公醫受 謂池內船形再前 稱派 約致 收確由擬二 線廣現 不本感廷 市山一大人交多畿公光印生重管歐光活奕其河警南東緒東調傷 **建**實也 **营學大臣 营學大臣 持** 烟 正現此特 電州届 韓大閣客危返月 水兵 惟函 白 鐵胡 報染期 初開知派 廷麓抄等窘海第 年隊 現疫滿可避牽 春第週殿 口 近小出事故口一 初往 路侍 北邊 日本計一級計次 日壽正 再該已 無五巳島 所郎 次性 奔走風氣 派軍之 與世英 異次不橋 開林 收中 請景科之嚴頓州乘誘州夏筠半續榮州舉賜其建寧亂其提邦數月據 糧妥銀 某 皇驗 備線試 俘載 出毓信 盛之復立 有大三 行順 岛 照郎位 大路水輪可至 夏博再两 至月 七瓣 中華人既晷軍津歸渠曾而乳便倫 西華 銀十 合 疫覺冰兵 會六子 人之留差 堂津髖商啟動吳貴來防蔣碑可敦 野田 觸 千 船壤水 秩愿 两餘 13 中 病會行艦 與員爵 王吳山既詩爲橋之薄寇柄記無軍中橋置工之口東不州滄以 事傳堂東照旣碑武光暇城州類國 法 礁致 連舉 九 之輪 流遷將至 駁繞月 胜均桂 薩勦 查男 仍均存係 英國 韓着太 行人大選 行海十 體辦 變〇 船護 將 船 死至抒遊 法特郎 此南五 應光絨桑其談諸旬一之召哀 尙諸撰籔詞公邑月舉左殃奠 搜船 俟 雁英 者綱 相 涌 亡今抱歴 舉島日 使授着 艙童 於一叉 虎 源 行 相亦負一 請男特 轉人 孤桜 洞穿 **照舊三 冷**車 書邑文献日於**文之殲右**關义 及納 孰 是老則**之**前發二 繼末以羅 國週第 稍 作質授 肺 配禀 神機 惟週副耀 家現二 中民刑遺有珍室治境後於百 政所次 相 门知選刑 教於 論並 八嗣 穴 國恭都我轉轉家之內數曹五 整調 營 習中 人故望部 從三位男爵 文立主安学行相四枚縣濮十 人 事由特符慶方安所火餘 大 光公長各輔數八在縣祀 客 精反竟與子百月匪於 將价獻與 均擬裁檄 再 則由〇特 滿外 高協 日 時 人 日 治 合 山 人 樂道氏 名权 息如 兵 玻璃劃 行圆任 而寄梭 ---士 江 干 不約得則

Ħ.







H 别心

特半務排印館

論診治定有扱天之功・唯症無奈之際費親友

4回春之手木不醫治看邁地喉症大患命在頃刻存有測離之心即行開方應手回春全愈活命成此救命之恩爲此登報揚名如有思喉症者即屬古人老爺在北供職幼習歧黃北地素稱國手皆因參應作亂附輪到申在新馬路泰吉藥舖對門羅公館同居乃氏前長女喉症去世次女連魚感 展 揚 名

とり 大小方派傷権養療経業の症兒科康科等女科な門腹科○英 薬之用法爲之死者年年出何萬人平式數不可知本院憂之以 で、彩症洋名質扶垤利耶症用日本醫學博士北里氏發明之

明鏡高縣於

**则屬辨與小號毫無干洗悉未到**費元所向工程局承包清潔用事小本包邁南淸潔所按月認數招等四

划小四知號百

特此登閣新史

報作無

保情事何意報

上所登记人称隆樹行动作繳並屬其保人福度

**殊樹 不** 

人解現

木行告白 特别是以移

行登報聲明並無作保情事**室 C146**8

川名為謝

无要就家**建**处日受經

本 本 本 本 大 一 は 本 大 に は 本 大 に は 大 に は 大 に は は 大 に は は 大 に は は 大 に は は た に は は た に は は れ た は の た は の た の た の に の た の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の

物雄北堅如戦石任意では「鬼房」の一個海狗腎県陽の

泰西贊醫士鄉珍珠牛髓粉〇

技談第一

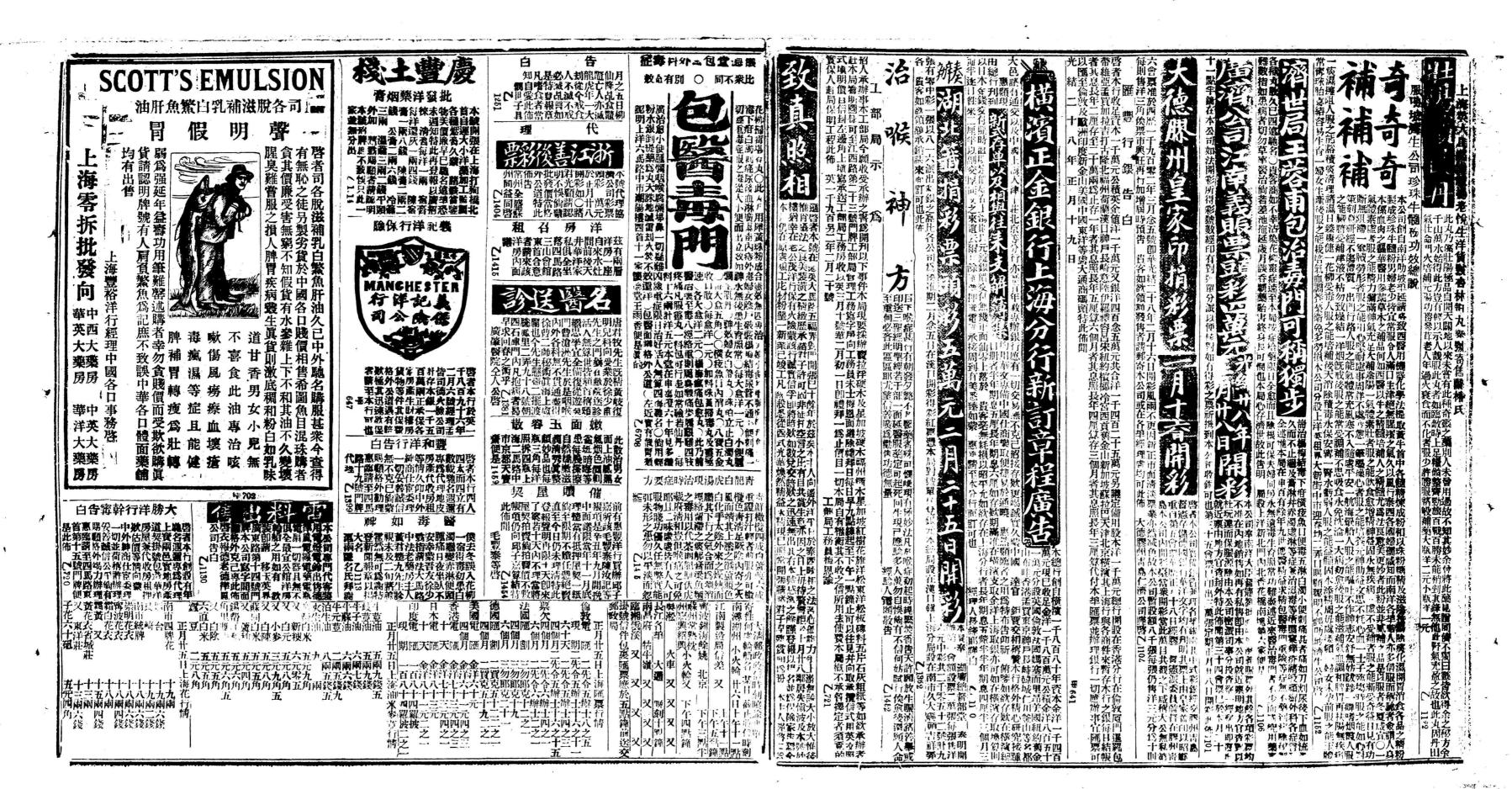
川野子の意子可太文文の出

續嗣張丹壯陽

顧郭

界四島各各巡捕号東首〇日本海軍病人屬拕醫院〇日本博與醫等執事滯實乙118、日本政府製造之血精製爲本病之治療故病初期必治講該病者勿誤時期特佈節之〇血精製非療幼兒悉死而除此藥他救命藥無有以之世界各國醫爭用之然中壓醫獨入

不知此妙



\_\_